

「笠利小学校の八月踊り・島唄伝承活動の取組」

1. 学校名	奄美市立笠利小学校
2. 学年・人数	全児童 55人
3. 日時・場所	<p>(1) 練習の日時・場所 令和7年4月～令和8年3月 (本校多目的ホール, 運動場, 体育館)</p> <p>(2) 発表の日時・場所 令和8年10月5日 校区合同秋季大運動会 (本校運動場) 令和8年12月9日 奄美市小・中学校音楽発表会 (奄美川商ホール) 令和8年3月24日 卒業式 (本校体育館)</p>
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能, 伝統 行事, 伝統工芸 品について	<p>(1) 名 称 八月踊り (はちがつおどり), 島唄 (しまうた)</p> <p>(2) 由 来 奄美には冠婚葬祭などの催しには必ず唄がある。三線の伴奏により, その集落に伝わる島唄である。また, 八月踊りは旧暦の八月の丙から, 三日踊って (アラセツ) 三日休み, そしてまた三日踊る (シバサシ) という集落の全員が唄と踊りに参加する伝統文化である。</p> <p>(3) 構成等 八月踊りでは, 全校児童が輪になっての「偽装 (衣装) 踊り」「三度まけまけ」「赤木名観音堂」を唄いながら踊る。三線, チヂンも子供たち自身がたたく。最後は地域の方々も参加して「六調」を一緒に踊る。音楽発表会で「行きゆんにや加那」を三線やりコーダーなどを用いて演奏する。卒業式では, 「行きゆんにや加那」を, 三線の伴奏をして, 卒業生に向けて唄う。</p>
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	<p>本校児童も参加している大笠利わらぶえ島唄クラブの講師に指導をお願いし, 島唄を好きになってもらうこともねらいの一つとして活動に取り組んでいる。島唄の歌詞を分かりやすく説明していただいたり, 歌ったりしている。郷土 (シマ) に対する誇りと自信をもたせるように工夫している。</p>
6. 取組の様子 (練習状況, 発 表の場等)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>運動会で披露</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>市音楽発表会で披露</p> </div> </div>
7. 感想・意見  (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等)	<p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初めて, 島唄と八月踊りを体験して, 島唄の歌詞が難しかったけれど, 楽しくて好きになった。次は三線やチヂンにも挑戦したい。</li> <li>・ 六調の三線練習は難しかったり, 腕が疲れたりしたけれど, あきらめずに頑張った。親にも褒められて嬉しかった。次の人も頑張ってもらいたい。</li> <li>・ 三線の練習は, ひいているうちにどんどん上手くなるから楽しい。本番は緊張したけれど, 今までで一番良い演奏ができた。自分用の三線も欲しい。</li> </ul>